



車輪梅

<鹿島中学校 学校だより>

【令和4年2月号③】

まとめ・振り返りを次年度に生かそう

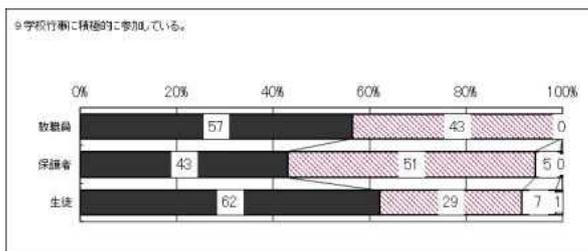
《重点目標》『品格を磨き 見通しをもって 粘り強く 共に高め合おう』

前号に引き続き、学校評価アンケートの結果をお伝えします。

【健康で忍耐強い生徒の育成】

9 学校行事に積極的に参加している。

教師、保護者が0.2pt、生徒が0.1pt減少しましたが、教師や生徒については他の項目と比較しても高い評価結果です。コロナ禍の制約の中、創意工夫し、目標達成に向けて一丸となって取り組むことで成就感や達成感が得られたことがうかがえます。

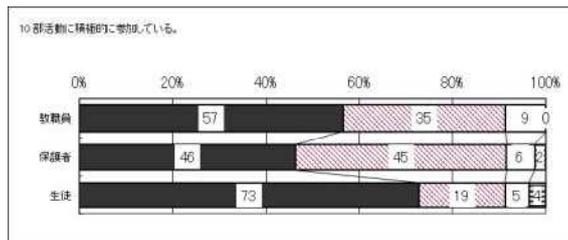


《今後の取組み》

今後も学校行事を、成就感や達成感の感得を通して生徒の成長を図る場ととらえ、指導に当たっていきたいと思います。

10 部活動に積極的に参加している。

教師が0.4pt減少していますが、保護者が0.1pt、生徒が0.3ptと増加しました。中体連や吹奏楽コンクールが再開され、目標をもって取り組むことができたことが結果に表れたものと思います。

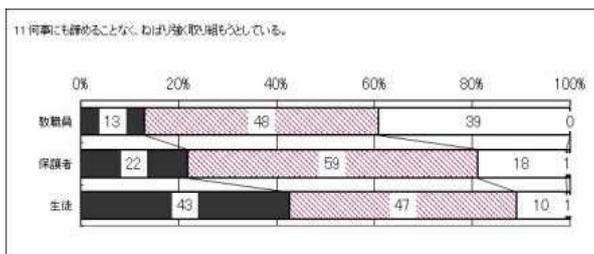


《今後の取組み》

今後も部活動を通して、体と心の面を伸ばし、達成感や成就感を味わわせ、自信へとつなげられるよう指導にあたっていきたいと思います。

11 何事にも諦めることなく、なばり強く取り組もうとしている。

今年度唯一3.0ptを超えていない項目ですが、昨年度との比較では教師と生徒が0.1pt上昇しています。数値は決して高いとはいえませんが、様々な制限がある中での生徒たちの取り組みが評価されたものであると考えられます。

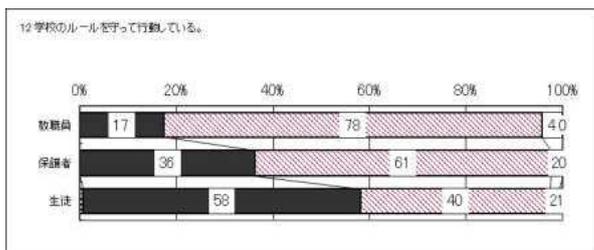


《今後の取組み》

「諦めない」気持、「なばり強い」姿勢は、鹿島中生徒に求められている課題です。こうした気持や姿勢を引き出すには、生徒自身が今何をすべきかを自分で考え、その必要性を強く実感することが大切です。生き方に関わる具体的な目標が持てるよう、広く国内外で活躍する地元ゆかりの人々との交流の機会を多く設定し、働きかけていきたいと思います。

12 学校のルールを守って行動している。

教師、保護者が0.1pt減少し、生徒が0.1pt増加しました。大多数の生徒がルールを守った生活ができていると回答しているのに対して教師の値が低いのは、まだまだ向上が期待できるという思いの表れであると思われる。



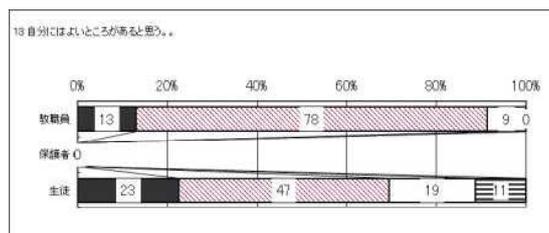
《今後の取組み》

今後も一層高い評価となるよう継続して指導に当たるとともに、生徒のよさを認め、具体的に賞賛していきたいと思います。

裏面に続きます。

13 自分によいところがあると思う。

この項目についてのみ、教師の評価より生徒の評価が低く出ています。思春期を迎え、自分をより客観視することができるようになってきたことや不安感の増大が要因だと考えられます。



《今後の取組み》

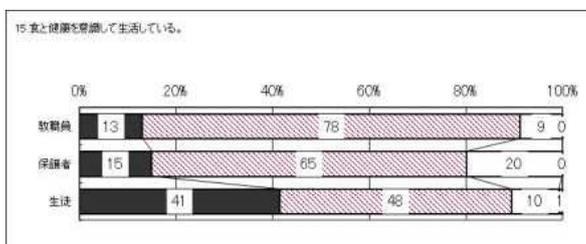
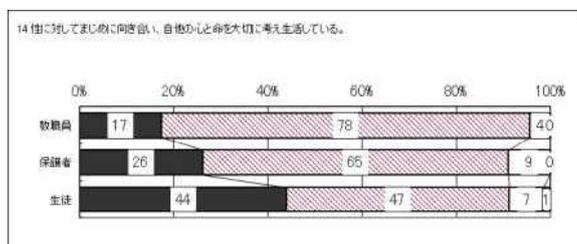
国際的に見ても自己肯定感については日本が際立って低い項目であることから、機会をとらえて、頑張りや小さな変化を大切に、成長の手ごたえを実感させていくとともに、地域社会全体で子どもを育てていく体制を築いていきたいと思ひます。

14 性に対してまじめに向き合い、自他の心と命を大切に考え生活している。

学年が上がるにつれて評価が高くなっています。継続して性指導を行っている成果が現れていると考えられます。今後も指導を継続していきたいと思ひます。

15 食と健康を意識して生活している。

今後も継続して食育の充実に努めていきたいと思ひます。



※カラー版を本校ホームページ上でご覧いただけます。